



北海道議会議員(札幌市中央区)

藤川まさし

道政・道議会だより

第7号

発行：藤川道政事務所

〒060-0063 札幌市中央区南3条西8丁目7-4 遠藤ビル4階

TEL (011)271-0788 / FAX (011)271-5004 / HP <http://www.fujikawa-masashi.com>

2018年 第2回定例道議会報告

6月19日開会 7月6日閉会

第2回定例道議会は、道補正予算、「地方財政の充実強化を求める意見書」、「平成30年度北海道最低賃金改正などに関する意見書」、「受動喫煙ゼロの実現を目指す決議」などを可決しました。

知事の任期は残すところ1年を割り込み、道政運営の検証や公約の達成状況、国政との関係などについて質疑をしましたが、知事は論議を書面から受け止めることなく終始しました。象徴的なのがJR北海道問題。30年前の分割民営化時に大幅に切

り捨てられ、これ以上は縮小しないはずだった路線について、そのほとんどの廃止も辞さないとするJRに対して、知事は地域での立場を踏まえる発言をしません。JR北海道の唯一の株主であり、経営の枠組み構築に責任があるにもかかわらず、他人事のような対応にとどまっている政府を問題解決に踏み出させる努力もしていません。

国際貿易交渉(TPPやEUとのEPA)への対応も、本道の一次産業や地域の懸念は拡大するばかりですが、知事は「必要な国境措置の確



一般質問を行いました

保等を国に求める」と全く具体性のないとの答弁を繰り返すだけです。

政府与党が強引に進めるカジノを含むIRについては、「カジノ」の推進の是非についての姿勢を明確にしない不誠実な対応と言わざるを得ません。

残された、わずかな任期の中で取り組むべき課題は山積しています。優先度を明確にし、一つでも課題を解決するよう党派として取り組んでいきます。

なお、種子法廃止に伴って農業者などから要望が強い「種子条例」について、知事の姿勢は消極的でしたが、わが党派は、本会議予算特別委員会を通じてその制定を強く求め、道としても「種子条例」制定を検討する方向となりました。

補正予算は一般会計41億6900万円、特別会計100万円の合計41億7000万円。内訳は、漁港災害復旧費10億円、エゾシカ肉のジビエ利用拡大推進費1億2000万円など。これで30年度予算規模は一般会計2兆7540億円、特別会計1兆1186億円の合計3兆8726億円となりました。



赤れんが庁舎の リニューアルについて

2018年2定 一般質問
(2018.6.26)

道では、本年2月に「赤れんが庁舎リニューアル基本指針（素案）」を取りまとめ、改修後のリニューアルオープンに向けた具体的な活用方策について、本年度中をめどに、最終案を取りまとめるとのことであります。

この「赤れんが庁舎リニューアル」に関わって樺太関係資料館について伺います。

樺太の歴史は北海道の歴史とも言われておりまして、歴史的な経緯を紹介いたします。

1868年（明治元年）に時の政府は、蝦夷地（北海道本島、樺太、千島）経営のため函館府を開庁。翌年、蝦夷地を北海道、樺太と改称し、開拓使を開設しました。

1870年（明治3年）、樺太開拓使を設置、北海道開拓使と業務を独立させましたが、翌年再び合併し、樺太支庁を置き、

1875年（明治8年）の「樺太千島交換条約」の締結までの5年間樺太は、開拓使樺太支庁として北海道行政の一翼を担いました。

その後、
1905年（明治35年）のポーツマス条約で樺太の南半分（南樺太）日本領に回復した後、

1943年（昭和18年）の「樺

太内地行政一元化法」に伴い、「北海道地方（北海道・樺太）行政協議会」がスタートしました。

1945年（昭和20年）の終戦前後において、北海道は、緊急疎開や引き揚げる樺太島民の受け入れを行い、大半が北海道に避難することができました。私の母もその一人であります。

道は樺太連盟から、8,000点以上の資料の寄附を受け、約800点を道庁赤レンガ庁舎に展示していただいております。樺太に関する多くの資料が残っておりこれらを展示し多くの方々には樺太の歴史を知っていただきことは大変意義深いものと考えます。

質問 本道の歴史や文化に関しては、関係団体にご協力をいただきながら、取り組んでいるところであり、先般、一般社団法人全国樺太連盟から要望が出されているところと承知しておりますが。リニューアルにあたっては、道民の方々をはじめ、関係者のご意見を踏まえ、展示スペースの確保や展示内容について、さらなる充実を図っていく必要があると考えますが、所見を伺います。

答弁 リニューアル後の展示に当たっては、北海道150年を契機

とし、多面的な観点から、改めて北海道を見つめ直し、その価値や魅力を再発見する機会を来庁者に提供するとともに、樺太の繁栄から引揚までの経緯や、北方領土問題など、北海道の歴史や先人の苦労について、次の世代にしっかりと受け継いでいけるよう、道民の皆様をはじめ、各方面の方々のご意見を踏まえながら魅力ある展示内容となるよう、検討を進めてまいります。



2018年 第1回定例道議会報告 2月21日開会 3月20日閉会

第1回定例道議会は、平成30年度予算算、障がい者の意思疎通支援条例、犯罪被害者等支援条例、民泊条例、自転車条例、「旧優生保護法において実施された優生手術に対する補償等の早期解決を求める意見書」などを可決しました。



道の30年度予算案は一般会計2兆7498億円、特別会計1兆1186億円の合計3兆8684億円。一般会計は前年度当初予算比0.1%減とほぼ横ばい、特別会計は、国民健康保険の都道府県単位化に伴い国保事業特別会計が5千億円規模で設置されたことなどで、同72.6%の大幅増となりました。

道税収入は伸び悩み、地方交付税は減少続き、道債への依存度が2年連続で上昇し、23.9%となり、30年度末の道債残高見通しは5兆7800億円となおも巨額であるなど、危機的、綱渡りのな財政運営が続いています。

会派は、本会議、予算特別委員会を通じて、JR路線問題、人口減少対策、各分野での人材確保、働き方改革への対応、観光施策、

国際交渉への対応、エネルギー施策などについて議論を展開したが、知事は、難局を打破する意欲に欠け、道民の先頭に立って北海道の未来をつくりあげていく方向性が示されない答弁を繰り返すだけでありました。

こうした議論経過から、会派は、30年度一般会計予算案については、組み替えを求める動議を提出し、反対しました。

**2018年 第1回定例道議会
予算特別委員会**

**FCV(燃料電池自動車)
の普及について**

質問 本道は、広域分散・積雪寒冷地という地域特性から、化石燃料への依存が高く、他の地域以上に、エネルギーの低炭素化に真剣に取り組んでいく必要があります。特に札幌市においては、運輸部門と民生部門からの二酸化炭素排出量が多く、その対策は急務です。昨年の1定でも質問しましたが、その後、道では公用車にFCVを導入する等普及拡大に向けた取り組みがなされていますが、これまでの取り組みと今後の展開に

ついて伺います。

答弁 道では昨年7月に公用車にFCVを導入、導入から2月末までの走行距離は約5千2百km。また、「水素・燃料電池普及キャラバン」を全道13市町村、延べ21回開催、民間や自治体のFCVも展示し、約200名の方が試乗・同乗し環境性能や静音性などを体感しました。

質問 エネ特で視察した室蘭市では、2016年3月に移動式水素ステーションとFCVを導入、市営温水プールにエネファームを導入するなど、着実な取り組みが行われていました。こうした自治体の取り組みや民間事業者等と連携した取り組みが大切だと思いますが道の取り組みについて伺います。

答弁 道では昨年6月に「道央圏FCV普及促進戦力会議」(道央圏の11市町村と5つの経済団体、関連企業で構成)を立ち上げ、国の施策や各種支援策、他県での取り組みなどの全国的な状況、メーカーの生産体制・技術開発の動向など最新の情報の提供・共有を行ってきました。

質問 この3月に民間事業者が札幌市内初の商用水素ステーション



をオープンさせるとのこと。この設備の概要と今後の展開について伺います。

答弁 エア・ウォーター株式会社が3月下旬に大型トレーラーの荷台に各種の水素供給設備を搭載した移動式のステーションで、札幌市豊平区の同社の敷地内に設置。FCV1台あたり約3分で高圧水素を充てんし、1日15台程度の対応が可能。このステーションの開所が札幌圏を中心としたFCV普及と水素需要の確保を後押しするものと期待。周辺自治体や事業者にたいするFCV導入の働き掛けを強めていきます。

特殊詐欺の認知件数・被害額の状況（6月末 暫定値）

		認知件数	被害金額（円）
特殊詐欺	H30	77	184,086,816
	H29	135	272,925,095
	増減数	-58	-88,838,279
振り込み詐欺	H30	73	178,629,416
	H29	131	247,025,095
	増減数	-58	-68,395,679
オレオレ詐欺	H30	14	69,003,000
	H29	71	189,803,232
	増減数	-57	-120,800,232
架空請求詐欺	H30	35	95,013,020
	H29	39	42,759,290
	増減数	-4	52,253,730
融資保証金詐欺	H30	12	8,137,989
	H29	15	9,472,222
	増減数	-3	-1,334,233
還付金等詐欺	H30	12	6,475,407
	H29	6	4,990,351
	増減数	6	1,485,056
振り込み詐欺以外の特殊詐欺	H30	4	5,457,400
	H29	4	25,900,000
	増減数	0	-20,442,600

表にある通り、「オレオレ詐欺」の被害額は、昨年同期（6月末）と比べて約1億2千万円減少していますが、まだまだ被害（約6千9百万円）が続いています。今年も、「架空請求詐欺」が増えています。昨年度期と比べて約5千2百万円の増、約9千5百万円と倍になっています。

被害に遭われた方の年齢層は、65歳以上が約5割（49.4%）を占めています。「動画料金が未納」とのメールや、「訴訟告知」とのハガキを送りつけてお金を請求してきます。絶対に支払わず、警察に相談しましょう。

**特殊詐欺
振り込み詐欺
オレオレ詐欺
架空請求詐欺にご注意！**

相談ダイヤル
#9110
です！



会派の名称を変更しました

本年6月1日付で会派の名称を、民進党・道民連合から「民主・道民連合」へ変更しました。

これは、党の再編や名称変更に伴うもので、わが会派には、立憲民主党所属、国民民主党所属、無所属の議員が入っています。

私は、立憲民主党へ入党しました。（2月17日付届け出）

8月1日現在の議会の構成は、

- 自民党・道民会議 49名
- 民主・道民連合 25名
- 北海道結志会 12名
- 公明党 8名
- 日本共産党 4名
- 欠員 3名です。



藤川まさし
プロフィール

1956年7月15日苫小牧市生れ
札幌市立二条小学校
札幌市立啓明中学校
北海道札幌西高等学校
慶應義塾大学法学部卒業

1980年 札幌市役所採用
2003年 札幌市議会議員当選
2007年 札幌市議会議員
2期目当選
2015年 北海道議会議員に当選

道議会
総務委員会
産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会所属

立憲民主党中央区支部代表
立憲民主党北海道第1区総支部幹事長

地域では

- 宮の森東一町内会顧問
- 札幌市立二条小学校同窓会会長
- ナイアガラマラソンクラブ顧問
- NPO法人
リトルシニア羊ヶ丘理事長
- 北海道商工連盟顧問
- 公益財団法人
オイスカ北海道支部顧問

住まい

札幌市中央区
宮の森3条2丁目3番11号